

もちづき亮佑 衆院大阪18区 国政対策委員長

活動ニュース No.14



2020.02.15 発行：日本共産党 衆院大阪 18 区選対本部 Tel:072-437-8411/Fax:072-437-8414 【部内資料】

2/13 泉大津市内で訪問・宣伝 (2/14 Facebook 掲載)

もちづきポスター掲示に協力いただいている支持者宅を訪問、協力を訴え



13日の午前中、泉大津市議の森下巖さん、地域の党支部の方と一緒に、この間、主にもちづきポスターの掲示でご協力いただいている地域の支持者の皆さんを訪ねて回りました。

ご挨拶もほどほどに、私の方から「新型コロナ対応でも、オリンピックを巡る動きでも、もう自民党に任せておける状況ではないと思うんです」と切り出すと、「ぼくもそう思ってた」「私も頑張るけど、あなたたちも頑張ってる」などとお声かけをいただきました。訪問した方の中には、れいわ新撰組の山本太郎氏の動画を YouTube などによく見ているという方もあり「共産党は言っていることは正しいのに、伝え方が上手くない。SNS の活用など工夫して」とアドバイスされる場面もありました。

この日の午後は宣伝カーに乗り換えて、同じく泉大津市議の田立恵子さんと街頭宣伝。泉大津のあちらこちらで訴えました。

2/11 高石市内で宣伝 (2/11 Facebook 掲載)

「感染拡大・女性蔑視発言を正面から受け止めオリンピック再検討を」と訴え

11日の午前、高石市内を高石市議の明石宏隆さん、松田亜季さんと宣伝カーで回り、各所で訴えました。

オリンピック組織委員会会長の森元首相の女性蔑視発言が国際的な批判を集めています。自民党の幹部からは森氏を擁護する声が聞こえてくるように、率直に言って、あれが自民党の「偉い先生方」の感覚なのでしょう。森氏はもとより自民党・菅政権自体が、男女平等を掲げるオリンピックを開催する主体としてふさわしくないのです。

さらに、ここへ来て、今夏のオリンピックそれ自体も焦点になっています。菅政権は、あくまで強行する姿勢ですが、この状況で世界中から人を呼び込めば、それを起点に感染拡大が起こることは目に見えています。ますます医療が逼迫し、重大な事態と

なりかねません。アスリートには気の毒ですが、中止もふくめた再検討が必要です。



いま政治が果たすべき役割は、国民の命や健康、暮らしや営業を守るために全力を尽くすことです。旧態依然とした「伝統的」価値観を振り下ろすことでもなければ、算盤をはじいて「平和の祭典」を強行することでもありません。

今の政治の有り様を立ち直らせるには、次の総選挙で野党連合政権を作ることが絶対に必要です。そのために一層力を尽くします。